
ポスター No.18

「コロナ禍に対応した「ウォークスルー方式」 のふれあいの場」

昭島市東部地域包括支援センター 竹口病院

【説明】

各地でサロン活動が活発的に実施されていますが、人との過度な交流を嫌い参加するのを躊躇する人の姿も見てきていたため、今までとは少し違った参加の場を考えていました。

加えてコロナ禍によって人が集まる場に制限がかかり、活動や参加の場が減少している中、地域で顔を合わせる場ができないものかと考えたこともこの活動を始めるきっかけとなりました。

地域の介護サービス事業所や生活支援コーディネーターにも声かけしながらOK（おむすびころりん）プロジェクト実行委員会を発足し、昨今、問題となっているフードロスや児童の孤食への解決の一助、また高齢者の外出機会の創出等の視点から、ウォークスルー方式の集いの場「おむすびころりん」を開催することとしました。

「おむすび」を握って配ることは、「おむすび」を通して地域を結んでいきたい気持ちであるのはもちろんのことですが、最近の子供たちはコンビニのおむすびに慣れていて、人が手で握ったものには不快感を感じて食べられないという話を聞いたこともあり、食文化を地域の子供たちに伝えていきたいという気持ちもありました。

フードバンク多摩からお米を分けてもらい、配布する際の袋は折り紙ボランティアの人たちに袋を作ってもらっています。地域の活動に協力してもらいながら、その活動を繋いでいくのもこのような活動の醍醐味でないでしょうか？

「おむすびころりん」も始めてから1年が経ちました。今後も地域の高齢者、子供たちやその親の世代が一堂に集まり、顔を合わせ、地域で挨拶できる環境のお手伝いができるよう頑張っていきたいと思えます。



「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」2021年 出展ポスター